平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2376(2025 年 11 月 20 日) (編集 哲·久)

Rotary (***)

■平田ロータリークラブ 事務局 9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL: 0853-63-3232 FAX: 63-5365

URL : http://hirata-rotary.jp/ Mail : office@hirata-rotary.jp/

2025-26 年度 国際ロータリー会長 / フランチェスコ・アレッツォ 「よいことのために 手を取りあおう」

2690地区ガバナー/ 坂口 元昭 (米子南RC)

会長/土江 光二副会長/大島 淳司幹事/三好 洋平会 計/小汀 泰之

■■■ 例会プログラム ■■■

	卓 話 者	演 題		
11月20日	学校法人花園学園 最高顧問 松井宗益様	混沌の七穴		
11月27日	合同会社 CELSO GROUP 代表社員 藤井セルノ栄 様	日系ブラジル人の視点から見た 共生社会		
12月 4日	いずも縁結び温泉ゆらり 18:30~	忘年例会		
12月11日	出雲税務署 署長 小川真吾様	税のよもやま話		
12月18日	全会員	コーヒーブレイク例会		

■■■ 出席報告 ■■■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
38	25	13	65.79

■■■ 欠席者 ■■■

安食洋·荒木·飯塚大·神田·加藤·清原·牧野·松浦·大國·大島淳 大谷良·園山·杉原

■■■ 来訪者 ■■■ な し

■■■ メークアップ ■■■ な し

■■■ 次回例会 受付当番 ■■■

(11月27日) 川上 亨/遠藤 寛/原 伸雄

(12月 4日) 飯塚洋道/原 孝士/飯塚大幸

■■■ 近隣クラブ例会情報(メークアップを考えましょう) ■■■

月	出雲中央 12/15 12/22•29(一)	松江南 12/15-22-29	
火	出雲 12/9 11/25・12/30(一)	松江しんじ湖 11/25・12/16・30	
水	大社 12/10 12/24・31(一)	松江 12/17 11/26・12/24・31(一)	
木	(一); ビジター受付なし	松江東 12/18 11/27・12/25(一)	
金	出雲南 11/21・12/19		
317	11/2812/26(—)		

■■■ 会長挨拶 ■■■

皆様、こんにちは。

先日の海岸清掃、早朝より大変お疲れ様でした。当日は放射冷却で大変寒い朝ではありましたが、紅葉と比較的穏やかな海に癒されながらの作業ではなかったでしょうか?

皆さんは、わがとこテレビをご覧になりましたか?皆さんがまじめに海岸清掃されている姿を松浦さんがとっても上手に撮っておられましたね。この映像を通して平田地域の皆さんにロータリーの活動が認知される事と思います。

そのあと、私と原会員とで、ブルーシーフードを釣に行きましたが、今日の食事に出ていなかったという事は。あとは想像にお任せ致します。

さて、今日は、先月メーキャップにおいてくださいました、第 2580 地区東京新都心 ロータリークラブ会員の伊豆隆義様から御礼のメールが届きましたので、ご紹介し たいと思います。

「先月となりましたが、貴クラブにメーキャップに訪問させて頂いた、2580 地区 東京新都心ロータリークラブ会員 伊豆でございます。

メーキャップの際には、大変な歓待を頂きありがとうございました。

雨がちな出雲ではありましたが、温かく感じたのも、皆さまのお心故かもしれません。東京においての折、お時間ありましたら、ぜひ、東京新都心ロータリークラブ (例会場 西新宿 ハイアットリージェンシー東京、例会日水曜日) にお立ち 寄りください。メーキャップの報告したところ、当クラブの児玉譲会員が平田の出 身との事でした (70歳くらいで弁護士をしております)。

それでは、皆様のご健勝をお祈りいたしまして、タイプを終えます。」

御礼のメールですが、伊豆隆義様は覚えていらっしゃいますか? 会員の中に平田出身の会員様がいらっしゃるとは、ご縁を感じます。 平田クラブには、姉妹クラブ、友好クラブは結んでいるクラブはありませんが、これを ご縁に、どちらか締結して行くのも良いかなと感じました。 本日は以上です。

■■■ 幹事報告 ■■■

1. ロータリーレートの変更

11/1 より 1 ドル 150 円 (現行 149 円)

2. 例会変更

○ 出雲中央 RC 12/15(月) 家族同伴忘年例会(夜の例会) ビジター受付 11:30~12:30 事務局

○大社 RC 12/10(水) 18:30~ 忘年家族会(夜間例会)ビジター受付 11::30~12::30 事務局

3. 休 会

○出雲中央RC 12/22·29(月) 定款により 受付なし ○大社RC 12/24·31(水) " "

4. 平田商工会議所 前副会頭 内田晃市 様 (退任)

" 会 頭 石原俊太郎 様 (再任)

" 副会頭模野安浩様(再任)

" 原 伸雄 様(再任)

" 神田栄里子 様 (新任)

" 専務理事 山岡 忍 様(再任)

ご挨拶状をいただきました。

5. 2024-25年度地区活動報告書の配布 (訂正箇所あり)

■■■ 委員会報告 ■■■

情報・雑誌委員会 : ロータノーの友 11 月号の紹介

出席・親睦委員会 : ★ 11 月の会員誕生・伴侶誕生・結婚記念祝い



★ 忘年例会のご案内12/4(木) 18:30~ いずも縁結び温泉ゆらり多くの皆様のご出席お待ちしています。

プログラム委員会 : 11・12 月プログラム予定表配布

副 SAA : 10 月分スマイル 78,000 円

■■■ スマイル ■■■

土江(学校法人花園学園最高顧問松井宗益様、ようこそ平田ロータリークラ ブへ。この後ご講話をよろしくお願いいたします。)

三好(本性寺松井宗益様、本日はようこそお出てくださいました。スピーチよろ しくお願いします。

先日は、皆様海岸清掃ご協力ありがとうございました。)

堀江・石原・遠藤・園(松井宗益様、ようこそお出てくださいました。スピーチよろ しくお願いいたします。)

模野(本日のお客様松井様の卓話を楽しみにしています。1996 年ロシアナホトカロータリークラブチャーターナイトに一緒に参加した時の事を思い出しました。)

原孝(お久しぶりです。お互いに元気そうでなによりです。今日のお話し楽しみで す。)

大谷厚(松井宗益様、ようこそお出で下さいました。歓迎申し上げます。)

恒松(松井様をスピー升にお迎えして。)

太田(松井宗益さん、平田ロータリークラブでの例会スピーチ、ありがとうございます。)

田中 (松井宗益花園学園最高顧問、また青年会議所の大先輩、本日のスピーチよろしくお願いいたします。)

來間 (寒くなりましたね。カゼをひかれませんようお身体にはお気を付けください。 本日松井様ようこそ平田 RCへ。スピーチ楽しみにしています。)

飯塚大 (中国の仏教聖地 普陀山(ふださん)へ出張中のため欠席で申し訳ありません。松井宗益様ようこそいらっしゃいました。)

■■■ 例会プログラム ■■■

「混沌の七穴」

学校法人 花園学園 最高顧問 松井 宗益 様



私は、ロータリーに在籍していた時期に、10年間100%出席をしました。ロータリーへは、国内はもとより、海外へ出かけた際にもメイキャップしたりしていました。

さて本日は、「混沌の七穴」ということについてお話します。

中国の思想書『荘子』(外篇・応帝王)という著書の中にある話で、2300 年前につくられたとされています。

物語には、三人の神的存在が登場します。

南海の帝 : 儵(しゅく) 北海の帝 : 忽(こつ)

中央の帝 : 混沌(こんとん、Hundun) 混沌は"のっぺらぼう"でした。

儵と忽は、混沌から大変よくもてなされます。そのお礼として、混沌に「人と同じように七つの穴(七竅)」を開けてあげようと考えます。

人間には、視・聴・食・息のための 七つの穴(七竅) がある。 しかし混沌には穴がない。 これは不便だろう。

そこで二人は、一日につき一つずつ「目・耳・鼻・口」を合わせた七つの穴を混沌 の体に穿っていきます。

しかし七日目に、七つの穴が開いたとき、混沌は死んでしまいました。 という話です。



皆さまもAIを駆使して、「混沌の七穴」とは と、たずねてみてください。

会話形式でモノゴトを訪ねたり、調べたりできます。

私はAIになんでも訪ねてみることにしています。

とても便利です。毎日、使っています。文章を作ってもらったりもできます。

私の知り合いで、ソフトバンクの宮川潤一社長(59 才)さんがいらっしゃいます。 この方と食事をする機会がありました。

AI やデジタル化が進み、AI を搭載したロボットが仕事をする時代がやってくると思われる将来が近くなってきています。

私たちは、「幸せ、有意義、楽しい」人生を送るために便利なものを開発し続けてきています。

逆にそれが、格差社会を生み、名人と呼ばれるような人がかかわらなければならない仕事以外は、ロボットにとってかわられることが想定されます。

では、人はいったい何のために「幸せ、有意義、楽しい」人生を送ることを追求して来たのでしょうか。経済の発展や成長のため、、進歩のため、、モノが豊かになっているのがいいことなのでしょうか。

そここは調和が必要ではないでしょうか。

宮川社長がこれから大企業を切り盛りしていくなかで、松井さんに書をいただきたいと言われ、書いた言葉が「満而不溢」(まんじつふいつ)です。これは、読んで字のごとく「器いっぱいになっても溢れ出ないこと」を意味します。解釈はいろいろあります。溢れるほどの利益が必要なのかという意味で書いたところもあります。今まで話てきた、現在の技術の進歩、便利さの追求は、目的であってはいけない、あくまで道具でなければいけない。一度立ち止まってみるのもいいことかもしれません。感性を養うことが大切ではないでしょうか。これからは、「心の時代」になると思います。

「幸せは、いつも自分の心が決める」: あいだみつをの名言です。

本日は、どうもありがとうございました。

